

大学院等の概要を記載した書類

事項		記入欄							備考
設置者	秋田県								
大学院の名称	秋田県立大学大学院								
大学本部の位置	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番7								
大学院の目的	秋田県立大学の教育研究機能を一層強化することにより、21世紀を展望した県内外の人材需要へ対応するとともに、学部からの進学や社会人の再教育へのニーズに応え、併せて、地域科学技術基盤形成の中核として、地域産業の振興、文化の向上など県勢の発展に寄与する。								
申請学部等の名称	申請学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	開設の時期及び開設年次	所在地	(基礎となる学部) 生物資源科学部 応用生物科学科 生物生産科学科 生物環境科学科  14条特例の実施 (前期後期すべての専攻)
	生物資源科学研究科	年	人	年次人	人		年 月 日 第 年次	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番7	
	博士課程(前期)						平成15年 4月1日 第1年次		
	生物機能科学専攻	2	14	—	28	修士 (生物資源科学)			
	遺伝資源科学専攻	2	14	—	28	修士 (生物資源科学)			
博士課程(後期)						平成15年 4月1日 第1年次			
	生物機能科学専攻	3	5	—	15	博士 (生物資源科学)			
	遺伝資源科学専攻	3	5	—	15	博士 (生物資源科学)			

学部、学科その他の名称	教 授	助教授	講 師		計		助手	後期課程の専任教員は前期課程の専任教員の中から担当するため、実数は前期課程の人数である。前期課程の兼任教員は2人とも両専攻共通科目を担当する。	
	専 任	専 任	専 任	兼 任	専 任	兼 任	専任		
申請分	生物資源科学研究科	人	人	人	人	人	人	人	
	博士課程(前期)	28(28)	25(25)	5(5)	2(2)	58(58)	2(2)	0(0)	
	生物機能科学専攻	14(14)	13(13)	2(2)	2(2)	29(29)	2(2)	0(0)	
	遺伝資源科学専攻	14(14)	12(12)	3(3)	2(2)	29(29)	2(2)	0(0)	
	博士課程(後期)	28(28)	0(0)	0(0)	0(0)	28(28)	0(0)	0(0)	
	生物機能科学専攻	14(14)	0(0)	0(0)	0(0)	14(14)	0(0)	0(0)	
	遺伝資源科学専攻	14(14)	0(0)	0(0)	0(0)	14(14)	0(0)	0(0)	
	計	28(28)	25(25)	5(5)	2(2)	58(58)	2(2)	0(0)	
既設分	システム科学技術研究科	人	人	人	人	人	人	人	
	博士課程(前期)	32(32)	19(19)	7(7)	4(4)	58(58)	4(4)	0(0)	
	機械知能システム学専攻	9(9)	6(6)	2(2)	0(0)	17(17)	0(0)	0(0)	
	電子情報システム学専攻	10(10)	8(8)	2(2)	3(3)	20(20)	3(3)	0(0)	
	建築環境システム学専攻	6(6)	2(2)	3(3)	0(0)	11(11)	0(0)	0(0)	
	経営システム工学専攻	7(7)	3(3)	0(0)	1(1)	10(10)	1(1)	0(0)	
	博士課程(後期)	30(30)	16(16)	5(5)	1(1)	51(51)	1(1)	0(0)	
	総合システム科学専攻	30(30)	16(16)	5(5)	1(1)	51(51)	1(1)	0(0)	
	計	32(32)	19(19)	7(7)	5(5)	58(58)	5(5)	0(0)	
教員以外の職員 の概要	職 種	専 任		兼 任		計		大学全体	
	事 務 職 員	47人 ( 47 )		0人 ( 0 )		47人 ( 47 )			
	技 術 職 員	5 ( 5 )		0 ( 0 )		5 ( 5 )			
	図 書 館 専 門 職 員	2 ( 2 )		0 ( 0 )		2 ( 2 )			
	そ の 他 の 職 員	2 ( 2 )		0 ( 0 )		2 ( 2 )			
計	56 ( 56 )		0 ( 0 )		56 ( 56 )				

校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用等	計	大学全体 秋田県立大学 短期大学部と 農場を共用
	校舎敷地	294,599.35 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	56,724.80 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	351,324.15 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	
	運動場用地	109,881.60 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	87,169.41 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	197,051.01 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	
	小 計	404,480.95 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	143,894.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	548,375.16 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	
	そ の 他	271,417.69 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	1,903,170.52 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	2,174,588.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	
	合 計	675,898.64 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	1,903,170.52 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	143,894.21 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	2,722,963.37 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用等	計	大学全体 うち大学院専 用棟全体 11,658.00 m <sup>2</sup>	
	69,078.51 m <sup>2</sup> (69,078.51 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	69,078.51 m <sup>2</sup> (69,078.51 m <sup>2</sup> )		
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	51 室	6 室	145 室	5 室 (補助職員 3 人)	2 室 (補助職員 2 人)	
専任教員研究室	申請学部等の名称	15 m <sup>2</sup> 未満	15m <sup>2</sup> から20m <sup>2</sup> 未満	20 m <sup>2</sup> 以上	計	学部棟教員研究室を使用 (学部教員が大学院を担当するため)
	生物資源科学研究科	室	室	室	室	
	生物機能科学専攻	0	0	29	29	
	遺伝資源科学専攻	0	0	29	29	
計	0 室	0 室	56 室	56 室		
図書・設備	申請学部等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌[外国書] 種	視聴覚資料点	機械・器具点	標 本点
	生物資源科学研究科	2,300 [770] ( 1,400 [440])	30 [ 25] ( 20 [ 15])	70 ( 40)	1,600 ( 1,200)	0 ( 0)
	計	2,300 [770] ( 1,400 [440])	30 [ 25] ( 20 [ 15])	70 ( 40)	1,600 ( 1,200)	0 ( 0)
図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体		
	4,867.32 m <sup>2</sup>	520 席	220,000 冊			

体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		4,198.75 m <sup>2</sup>		トレーニングルーム		314.24 m <sup>2</sup> (2室)			
				テニスコート		10面			
				野球場		1(両翼100m)			
				陸上競技場		2(400m/周)			
経費の見積り及び維持方法の概要(申請分)	経費の見積り	区 分	開設前年度	開設年度		完成年度		教員研究費は旅費、共同研究費等、海外旅費を含む	
		教員1人当りの研究費	2,742千円	3,836千円		3,836千円			
		教員1人当りの研究旅費	0千円	0千円		0千円			
		共同研究費等	0千円	0千円		0千円			
		海外研究旅費	0千円	0千円		0千円			
		図書購入費	19,680千円	13,120千円		0千円			
		設備購入費	702,422千円	170,967千円		0千円			
	維持方法	学生1人当りの納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		第1年次は授業料(年額)入学料、検定料の合計	
			809千円	497千円	497千円	497千円			
		学生納付金以外の維持方法の概要	毎年度秋田県一般会計予算において、管理運営費、学生教育費、教員研究活動推進費等の必要経費を見積もりし、計上している。歳入項目としては、授業料の他に、入学金及び検定料がある。						
既設大学の状況	大 学 の 名 称		秋田県立大学						
	学 部 等 の 名 称		修 業 限 年	入 学 定 員	編入学定員	収 容 定 員	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	システム科学技術学部		年	人	年次人	人	倍	平成11年度	秋田県本荘市土谷字海老ノ口84番4
	機械知能システム学科		4	80	—	320	1.00		
	電子情報システム学科		4	80	—	320	1.02		
	建築環境システム学科		4	40	—	160	1.04		
	経営システム工学科		4	40	—	160	1.01	平成11年度	秋田県秋田市下新中野字街道端西241番7
	生物資源科学部								
	応用生物科学科		4	40	—	160	1.04		
生物生産科学科		4	40	—	160	1.06			
生物環境科学科		4	30	—	120	1.06			

既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	秋田県立大学大学院						
	学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
	システム科学技術研究科	年	人	年次 人	人	倍	平成 14 年度	秋田県本荘市土 谷字海老ノ口 8 4 番 4
	博士課程（前期） 機械知能システム学専攻	2	18	—	36	0.27		
	電子情報システム学専攻	2	18	—	36	0.11		
	建築環境システム学専攻	2	7	—	14	0.14		
	経営システム工学専攻	2	7	—	14	0.85		
	博士課程（後期） 総合システム科学専攻	3	8	—	24	0.50		
	大 学 の 名 称	秋田県立大学短期大学部						
	学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
生物生産学科	年	人	年次 人	人	倍	昭和 48 年度	秋田県南秋田郡 大瀧村字南 2 丁 目 2 番地	
農業工学科	2	60	—	120	1.26			
	2	30	—	60	1.16			

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
生物資源科学研究科前期課程 (生物機能科学専攻) (専攻共通科目)									共通科目、実験・ 実習から8単位以上 履修
実践英語A	1		2						
英語プレゼンテーションA	1		2						
風土・文化構造論	2		2						
産業社会と倫理	2		2						
感性情報と環境の心理	2		2						
地域社会と家族	2		2						
植物バイオテクノロジー	2		2			1			
食料・農業・環境政策論	2		2						
農業環境論	2		2						
木材科学総論	2		2		★	★			
森林・木材資源循環論	2		2		★	★			
生物環境計測・制御学	1		2			★			
秋田農学	2		2						
秋田食品産業科学	2		2						
(実験・実習)									
3Dマイクログラフ取扱法及び測定技術	1		1						
遺伝子取扱法及び遺伝子組換え技術	1		1		★	★			
電子顕微鏡操作法及び組織化学・細胞化学	1		1			★			
有機・無機化学物質取扱法	1		1			★			
先端的生物培養技法	1		1		★	★			
(専門科目)									
天然物有機化学論	1		2		1	1		専門科目から 必修科目を含め 22単位以上履修	
生物代謝化学	1		2		1	1			
バイオテクノロジーの最前線	1		2		1	2	1		
分子生物学特論	1		2		1	1			
応用微生物学特論	1		2		2	1			
植物遺伝学	1		2		1	1			
植物分子生理学	1		2		1	1			
植物共生生理学	1		2		1	1			
植物ホルモン学	1		2		1		1		
蛋白質工学	1		2		1				
植物ウイルス学	1		2		1				
木材物性論	1		2		1	1			
木材細胞形成論	1		2		★	1			
応用木材化学	1		2		1	1			
生物機能科学課題研究(修士論文)	1~2	8			★				(専攻全教授で担当)
生物機能科学演習	1~2	6			★	★	★	(専攻全教員で担当)	
生物機能科学専攻(前期課程)の合計		14	61		14	13	2	修了要件30単位以上	

授業科目の概要

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
生物資源科学研究科前期課程 (遺伝資源科学専攻) (専攻共通科目)									共通科目、実験・ 実習から8単位以上 選択
実践英語A	1		2						
英語プレゼンテーションA	1		2						
風土・文化構造論	2		2						
産業社会と倫理	2		2						
感性情報と環境の心理	2		2						
地域社会と家族	2		2						
植物バイオテクノロジー	2		2						
食料・農業・環境政策論	2		2		★	★			
農業環境論	2		2		★	★			
木材科学総論	2		2		★		1		
森林・木材資源循環論	2		2		★		★		
生物環境計測・制御学	1		2						
秋田農学	2		2						
秋田食品産業科学	2		2						
(実験・実習)									
ラジオアイソトープ取扱法及び測定技術	1		1		★				
遺伝子取扱法及び遺伝子組換え技術	1		1						
電子顕微鏡操作法及び組織化学・細胞化学	1		1		★				
有機・無機化学物質取扱法	1		1			★			
先端的生物培養技法	1		1			★			
(専門科目)									
醸造微生物学特論	1		2		1	1		専門科目から 必修科目を含め 22単位以上履修	
食品製造学特論	1		2		1	1			
水循環論	1		2		1				
生産土壌学	1		2		1	2			
土壌微生物生態学	1		2		1	1			
地域森林管理論	1		2		1	1			
地域資源循環論	1		2		1	1			
食料・環境問題分析論	1		2		1	1			
植物栄養診断学	1		2		1	1			
植物資材代謝化学	1		2		1	1			
資源植物栽培科学	1		2		1	1			
植物病原管理学	1		2		1	1			
木質構造総論	1		2		★		1		
木質構造設計論	1		2		2				
木質材料工学	1		2		★		1		
遺伝資源科学課題研究(修士論文)	1~2	8			★				(専攻全教授で担当)
遺伝資源科学演習	1~2	6			★	★	★		(専攻全教員で担当)
遺伝資源科学専攻(前期課程)の合計		14	63		14	12	3		修了要件30単位以上

授業科目の概要

授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					
			必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手		
授業科目の概要	生物資源科学研究科後期課程 (生物機能科学専攻) (専攻共通科目)										
	実践英語B	1		2							共通科目から
	英語プレゼンテーションB (専門科目)	1		2							2単位以上履修
	生理活性物質化学	1		2		1					専門科目から
	微生物薬品開発製造学	1		2		1					必修科目を含め
	関連生命科学	1		2		1					14単位以上履修
	分子細胞生物学	1		2		1					
	宿主寄生体論	1		2		1					
	植物育種学	1		2		1					
	植物代謝工学	1		2		1					
	有用菌類生化学	1		2		1					
	応用共生生物学	1		2		1					
	遺伝子学詳論	1		2		1					
	遺伝子工学技術論	1		2		1					
	分子細胞工学	1		2		1					
	木材物性制御論	1		2		1					
	木材化学特論	1		2		1					
	生物機能科学課題研究 (博士論文)	1~3	10			★					(専攻全教授で担当)
	生物機能科学演習	2	2			★					(専攻全教授で担当)
生物機能科学専攻 (後期課程) の合計		12	32		14					修了要件16単位以上	

授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					
			必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手		
授業科目の概要	生物資源科学研究科後期課程 (遺伝資源科学専攻) (専攻共通科目)										
	実践英語B	1		2							共通科目から
	英語プレゼンテーションB (専門科目)	1		2							2単位以上履修
	醸造酵素化学	1		2		1					専門科目から
	地域特産食品論	1		2		1					必修科目を含め
	メソスケール環境論	1		2		1					14単位以上履修
	水田土壌学	1		2		1					
	土壌環境資源論	1		2		1					
	地域森林生態学	1		2		1					
	生態系工学特論	1		2		1					
	地域資源経営論	1		2		1					
	植物生産資材学	1		2		1					
	生物制御化学	1		2		1					
	資源植物機能形態学	1		2		1					
	種子病理学	1		2		1					
	木質材料工学特論	1		2		1					
	木質材料劣化制御システム論	1		2		1					
	遺伝資源科学課題研究 (博士論文)	1~3	10			★					(専攻全教授で担当)
	遺伝資源科学演習	2	2			★					(専攻全教授で担当)
遺伝資源科学専攻 (後期課程) の合計		12	32		14					修了要件16単位以上	



生物資源科学部

教養基礎教育科目(3学科共通)

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
教養基礎教育	文学・文化学Ⅰ イメージの世界	1・2・3・4		2		1			10単位以上選択
	文学・文化学Ⅱ 日本の美と東北の風土	1・2・3・4		2		★			
	文学・文化学Ⅲ 日本語の表現	1・2・3・4		2		★			
	哲学・倫理学Ⅰ 生きることの意味について	1・2・3・4		2		1			
	哲学・倫理学Ⅱ 利己主義について	1・2・3・4		2		★			
	哲学・倫理学Ⅲ 生の倫理	1・2・3・4		2		★			
	心理学Ⅰ 発達と個性	1・2・3・4		2			1		
	心理学Ⅱ 認識と理解	1・2・3・4		2			★		
	心理学Ⅲ 空間と行動	1・2・3・4		2			★		
	社会学Ⅰ 現代家族の諸相	1・2・3・4		2					
	社会学Ⅱ 近代市民社会の秩序	1・2・3・4		2					
	経済学A 豊かな生活を求めて	2・3・4		2					
	経済学B 人間発達の経済的条件	2・3・4		2					
	総合科目Ⅰ 人間と環境	2・3・4		2		★	★		
総合科目Ⅱ 生活と情報	2・3・4		2		★	★			
外国語	LLⅠ	1	2		★	1	1	選択科目から6単位以上 選択 必修科目を含め12単位 以上履修	
	LLⅡ	1	2		★	★	★		
	総合英語	1	2		1	★			
	英会話Ⅰ	2	2		1	1			
	英会話Ⅱ	2	2		★	★			
	英作文Ⅰ	2	2		1				
	英作文Ⅱ	3	2		★				
	英文講読Ⅰ	2	2		★				
	英文講読Ⅱ	2	2			★			
	英文講読Ⅲ	3	2		★				
保健体育	体育実技Ⅰ 健康と体力	1	1					2単位以上選択	
	体育実技Ⅱ ゲームと技能	2	1						
	保健体育 健康の科学	1・2	2						
情報科学	コンピュータリテラシーⅠ	1	2					4単位必修	
	コンピュータリテラシーⅡ	1	2						
教養基礎教育科目の合計			10	52		5	4	1	

・応用生物科学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
			必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
授 業 科 目 教 育 概 要	専 門 基 礎 科 目	人類の生存と生物資源	1	2		★				「食料生産の将来展望」、 「秋田の自然と風土」の中 から2単位以上選択 それ以外の選択科目から 2単位以上選択 必修科目を含め20単位 以上履修
		バイオテクノロジーと人類	1	2		★				
		食料生産の将来展望	1		2					
		秋田の自然と風土	1		2					
		数学Ⅰ	1		2					
		数学Ⅱ	1		2					
		物理学	2		2					
		化学Ⅰ	1	2		★				
		化学Ⅱ	1	2			★			
		生物学Ⅰ	1	2			★			
		生物学Ⅱ	1	2		★				
		化学・生物学実験Ⅰ	1	2		★			1	
		化学・生物学実験Ⅱ	2	2		★			1	
		地球科学	1		2					
専 門 科 目 教 育 概 要	学 部 共 通 科 目 専 門 科 目	生物化学Ⅰ	2	2			1		※1の中から12単位以上 選択 ※2の中から28単位以上 選択  ※1  選択科目には10単位ま で、他学科の専門科目を 算入できる。 必修科目を含め76単位 以上履修  ※2	
		分子生物学Ⅰ	2	2		★				
		生物有機化学	2	2		★				
		微生物学Ⅰ	1	2		★				
		遺伝学Ⅰ	1		2					
		植物生理学Ⅰ	1		2					
		植物栄養学	2		2					
		生物無機化学	2		2					
		気象学	1		2					
		土壌学	2		2					
		植物生態学	1		2					
		地域資源経済学	2		2					
		生物化学Ⅱ	2	2		1				
		微生物学Ⅱ	2	2			★			
食品科学概論	2	2		★						
酵素化学	2	2		★						
発酵学概論	2	2		★						
学 科 選 択 科 目	分子生物学Ⅱ	3		2		1				
	細胞免疫学	3		2	1					
	遺伝子工学	3		2		★				
	細胞生物学	3		2	1					
	細胞工学	3		2	★					
	分析化学	3		2		1				
有機合成化学	3		2	1						

授 業 科 門 目 教 育 科 目 概 要	授 業 科 目 の 名 称		配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			専 任 教 員 配 置				備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	助 教 授	講 師	助 手	
	学 科	専 門 科 目									
	学 科	応用微生物学	3		2		1				※2
	学 科	食品衛生学	3		2			1			
	学 科	公衆衛生学	2		2		★				
	学 科	食品化学	3		2		1				
	選 択 専 門 科 目	食品製造学	3		2		★				
	選 択 専 門 科 目	データ解析法	2		2			1			
	選 択 専 門 科 目	醸造微生物学	3		2			1			
	選 択 専 門 科 目	醸造プロセス工学	3		2		1				
	選 択 専 門 科 目	生物工学	2		2			★			
	選 択 専 門 科 目	生理学 I	3		2			★			
	選 択 専 門 科 目	生理学 II	3		2						
	実 験 ・ 実 習 等	応用生物科学実験 I	2	4			★	★		2	
	実 験 ・ 実 習 等	応用生物科学実験 II	3	4			★	1		2	
	実 験 ・ 実 習 等	応用生物科学科研究室 実験	3	2			★	★		2	
	実 験 ・ 実 習 等	卒業論文	4	8			★	★		★	
	実 験 ・ 実 習 等	インターンシップ A	2			2	★	★			
	実 験 ・ 実 習 等	インターンシップ B	2			2	★	★			
	専門教育科目の合計			52	64	4	7	7		8	卒業要件124単位以上

・生物生産科学科

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
			必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
授業科目の概要	専門基礎科目	人類の生存と生物資源	1	2						「バイオテクノロジーと人類」、 「秋田の自然と風土」の中 から2単位以上選択 それ以外の選択科目から 2単位以上選択 必修科目を含め20単位 位以上履修
		バイオテクノロジーと人類	1		2					
		食料生産の将来展望	1	2			★			
		秋田の自然と風土	1		2					
		数学Ⅰ	1		2					
		数学Ⅱ	1		2					
		物理学	2		2					
		化学Ⅰ	1	2						
		化学Ⅱ	1	2			★			
		生物学Ⅰ	1	2			★			
		生物学Ⅱ	1	2			★			
		化学・生物学実験Ⅰ	1	2				★	★	
		化学・生物学実験Ⅱ	2	2				★	★	
		地球科学	1		2					
授業科目の概要	専門科目	生物化学Ⅰ	2		2				※1	
		分子生物学Ⅰ	2		2					
		生物有機化学	2		2					
		微生物学Ⅰ	1		2					
		遺伝学Ⅰ	1	2			★			
		植物生理学Ⅰ	1	2			★			
		植物栄養学	2	2			★			
		生物無機化学	2	2				1		
		気象学	1		2					
		土壌学	2		2					
		植物生態学	1		2					
		地域資源経済学	2		2					
		生物制御化学	2	2			★			※1の中の選択科目から 12単位以上選択
		作物生態学	2	2			★			
植物病理学	2	2			★					
次世代生物生産システム学	4	2			★					
授業科目	選択科目	遺伝学Ⅱ	2		2		1		※2	
		分子遺伝学	3		2			1		
		育種学	3		2		★			
		植物生化学	3		2			1		
		植物生理学Ⅱ	3		2		1			
		植物細胞学	2		2		★			
		肥料学	3		2		1			
		耕地生態系科学	4		2		★			
農薬学	4		2		1					

授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	学 科 選 択 科 目	授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			専 任 教 員 配 置				備 考	
					必 修	選 択	自 由	教 授	助 教 授	講 師	助 手		
			植物化学	2		2				1			※2
			生物活性物質化学	3		2		★					
			栽培学	2		2		1					
			資源植物学	3		2		★					
			園芸学	3		2			1				
			植物保護学	3		2		1					
			植物病理生態学	4		2			1				
			害虫学	2		2							
			植物工学	3		2		1					
			植物組織培養学	2		2		★					
			生物環境調節学	3		2				1			
			生物生産科学実習	2	2			★			2	選択科目には10単位まで、他学科の専門科目を算入できる。 必修科目を含め76単位以上履修	
			生物生産科学実験Ⅰ	2	4			★	★		3		
			生物生産科学実験Ⅱ	3	4			★	★	★	2		
			生物生産科学演習	3	2			★			1		
			生物生産科学科研究室実験	3	2			★	★	★	★		
			卒業論文	4	8			★	★	★	★		
			インターンシップA	2			2	★	★				
			インターンシップB	2			2	★	★				
専門教育科目の合計						54	68	4	7	6	1	8	卒業要件124単位以上

・生物環境科学科

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考	
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手		
専門基礎科目	人類の生存と生物資源	1	2						「バイオテクノロジーと人類」、「食料生産の将来展望」の中から2単位以上選択 それ以外の選択科目から2単位以上選択 必修科目を含め20単位以上履修	
	バイオテクノロジーと人類	1		2						
	食料生産の将来展望	1		2						
	秋田の自然と風土	1	2			★				
	数学Ⅰ	1		2						
	数学Ⅱ	1		2						
	物理学	2		2						
	化学Ⅰ	1	2				★			
	化学Ⅱ	1	2							
	生物学Ⅰ	1	2				★			
	生物学Ⅱ	1	2							
	化学・生物学実験Ⅰ	1	2				★	★		
	化学・生物学実験Ⅱ	2	2				★	★		
	地球科学	1		2		★				
専門科目の概要	学部共通科目	生物化学Ⅰ	2	2					※1	
		分子生物学Ⅰ	2	2						
		生物有機化学	2	2						
		微生物学Ⅰ	1	2						
		遺伝学Ⅰ	1	2						
		植物生理学Ⅰ	1	2						
		植物栄養学	2	2						
	専攻科目	学科共通科目	生物無機化学	2	2					※1の中から12単位以上選択 ※2の中から24単位以上選択 ※3の中から2単位以上選択 選択科目には10単位まで、他学科の専門科目を算入できる。 必修科目を含め76単位以上履修
			気象学	1	2		1			
			土壌学	2	2		1			
		植物生態学	1	2		1				
		地域資源経済学	2	2		1				
		学科選択科目	陸水環境学	2	2			1		
			環境毒性学	2	2		★			
			資源循環学	2	2			★		
			森林生態学	2	2			★		
		学科選択科目	環境生態工学	2	2		★			
環境経済学	2		2				1			
水文学	2		2		★					
水界生態学	3		2			★				
土壌生態学	3		2			1				
環境分析化学	3		2			★				
学科選択科目	自然生態学	3	2			1				
	景観生態学	3	2		★					
森林環境学	2	2		1						

授	授業科目の名称			配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
					必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
業 専 科 門 目 教 育 科 目 概 要	専 門 教 育 科 目	学 科 選 択 科 目	森林資源学	3		2			1			※2
			森林管理学	3		2		★				
			環境生物学	3		2		1				
			環境社会学	3		2			1			
			地域計画学Ⅰ	3		2		★				
			地域計画学Ⅱ	3		2		★	★			
	概 要	実 験 ・ 実 習 等	生物環境科学実習	2	2			★	★		2	※3
			生物環境科学実験Ⅰ	2	4			★	★		2	
			生物環境科学実験Ⅱ	3	4			★	★		2	
			地域資源経済学演習	3		2		★		★	1	
			生物環境科学科研究室 実験	3		2		★	★		★	
			卒業論文	4	8			★	★	★	★	
			インターンシップA	2			2		★			
			インターンシップB	2			2		★			
専門教育科目の合計				54	58	4	6	5	1	7	卒業要件124単位以上	

<p>附属施設の概要</p>	<p>名称 : 非閉鎖系温室  設置年月 : 平成 15 年 3 月  規模 : 51 m<sup>2</sup> (1 室)、120 m<sup>2</sup> (1 室)  所在地 : 校地内 (圃場隣接地) に設置  (注) 既存に温室を追加</p>
	<p>名称 : 温室群連結作業棟  設置年月 : 平成 15 年 3 月  規模 : 169 m<sup>2</sup> (1 棟)、113 m<sup>2</sup> (1 棟)  所在地 : 校地内 (圃場隣接地) に設置  (注) 温室に連結設置</p>
	<p>名称 : 植物工場  設置年月 : 平成 15 年 3 月  規模 : 272 m<sup>2</sup>  所在地 : 校地内 (大学院棟隣接地) に設置</p>
	<p>名称 : 試料素材棟  設置年月 : 平成 15 年 3 月  規模 : 500 m<sup>2</sup>  所在地 : 校地内 (大学院棟隣接地) に設置</p>
<p>自己点検・評価の実施に関する対応</p>	<p>教育研究水準の向上と、設置目的及び社会的使命を達成するため教育研究の活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、アカウンタビリティを追求することを目的に、自己評価委員会を学則に基づき設置するとともに、学部 (研究科を含む)、研究所ごとの専門部会を設置している。現在、評価項目と評価基準を策定しているが、主に「大学等の理念や目的に関すること、教育組織や教育課程に関すること、研究活動に関すること、学生の受入に関すること、管理運営に関すること」等大学基準協会等の外部評価機関による評価に繋がる事項に加え、「国際交流活動に関すること、地域社会等への貢献に関すること」も項目とすることにより、秋田県立大学としての特色ある自己点検及び評価を行う方針である。</p> <p>平成 14 年度内に「自己点検・評価報告書」と「秋田県立大学の現状と課題」を策定し、学外に公表するとともに秋田県立大学運営協議会に諮問し、意見や助言を仰ぐ予定である。これを受けて、学内各委員会等で対応策等の検討を行い、予算編成・組織・人事及び次年度以降の教育研究・管理運営などへ反映させる。</p> <p>また、今後、大学基準協会の維持会員となり、その加盟判定審査を受ける考えで作業を進めている。</p> <p>教員については、FD 委員会において学部学生による授業評価を Semester 毎に実施し、その結果を各教員に通知することにより、授業方法の改善を図るよう推進している。授業評価結果の検討とともに将来的には学生に対する教育方法に関し、学外講師を招いてセミナー等を開催して教員の教育能力向上に役立てることなどを FD 委員会を中心に検討する。</p> <p>また、年度毎に研究成果発表会を開催し、それを学外にも公開することにより、教員の研究分野での能力向上、相互理解に役立てている。</p> <p>くわえて、大学院教員は、学部教員とは質的に異なるものであると考え、前期課程指導教員については、過去における学術論文、特許の取得、学会賞等及び大学院での教育実績を評価項目とし、専門分野で高度職業専門人を育成するにたる研究テーマを選び、技術指導できるものであるかどうかを評価する。後期課程指導教員については、過去における学術論文、特許の取得、学会賞等及び大学院での教育実績を評価項目とし、専門領域に新しい分野を開拓する可能性のある先端的な研究テーマを選び、指導できるものであるかどうかを評価する。</p> <p>〈これまでの主な取組状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による授業評価の実施に向けた準備 (学生アンケート調査の試行)</li> <li>・教員の自己評価アンケートの実施</li> <li>・FD (ファカルティ・デベロップメント) 専門委員会の設置</li> <li>・自己点検評価表の作成</li> </ul>



<p>教育研究活動等の状況に関する情報の積極的な提供についての対応</p>	<p>受託研究や共同研究を通じた産学連携への取り組み、研究者リストの作成と提供、企業への教員の派遣及び技術指導、情報交換会の実施、大学の活動を理解し県民に高度な教育機会を提供する公開講座や講演会の実施、大学ホームページやインターネットによる教員の教育研究活動の直接的な紹介等、開かれた大学としての基本理念を実現するために積極的に取り組んでいる。</p>
<p>教育内容等の改善のための組織的な研究研修等の実施に関する対応</p>	<p>学内委員会にFD（ファカルティ・デベロップメント）専門委員会を設置し、教員のFD関係研修会の実施、教員相互の授業参観、学生による授業評価（11年度、12年度アンケート調査を試行済）、先進大学調査などの取り組みを行っている。</p>

